

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-362222
 (43)Date of publication of application : 18.12.2002

(51)Int.Cl.

B60Q 1/34
 B60R 1/06
 B60R 1/12

(21)Application number : 2001-165761

(71)Applicant : TOKAI RIKA CO LTD

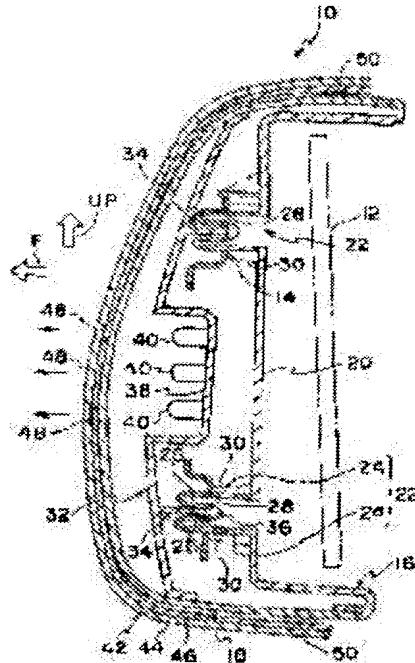
(22)Date of filing : 31.05.2001

(72)Inventor : EJIRI TADASHI
 ICHIKAWA TAKASHIGE

(54) VISOR COVER STRUCTURE HAVING TURN SIGNAL OF OUTER MIRROR

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce the parts number, improve an assembly property, increase the versatility of design, and reduce the wind noise level.
SOLUTION: The light from a light-emitting diode 40 is transmitted through a visor cover 18. The visor cover 18 is capable of emitting the light over the entire surface. However, an in-molded design cover 42 shields the light from the visor cover 18 at a remaining part except a turn signal shaped part 48, and only the turn signal shaped part 48 through which the light transmitted through the visor cover 18 is transmitted emits the light. The turn signal shaped part 48 of the design cover 42 can emit the light without any limitation of the shape and the position, and the turn signal can realize any free shape and position.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-362222

(P2002-362222A)

(43)公開日 平成14年12月18日 (2002.12.18)

(51)Int.Cl.⁷

B 6 0 Q 1/34
B 6 0 R 1/06
1/12

識別記号

F I
B 6 0 Q 1/34
B 6 0 R 1/06
1/12

テマコート*(参考)
B 3 D 0 5 3
D 3 K 0 3 9
A

審査請求 未請求 請求項の数3 O.L (全5頁)

(21)出願番号

特願2001-165761(P2001-165761)

(22)出願日

平成13年5月31日 (2001.5.31)

(71)出願人

000003551
株式会社東海理化電機製作所
愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地

(72)発明者

江尻 忠
愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地
株式会社東海理化電機製作所内

(72)発明者

市川 貴茂
愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地
株式会社東海理化電機製作所内

(74)代理人

100079049
弁理士 中島 淳 (外3名)

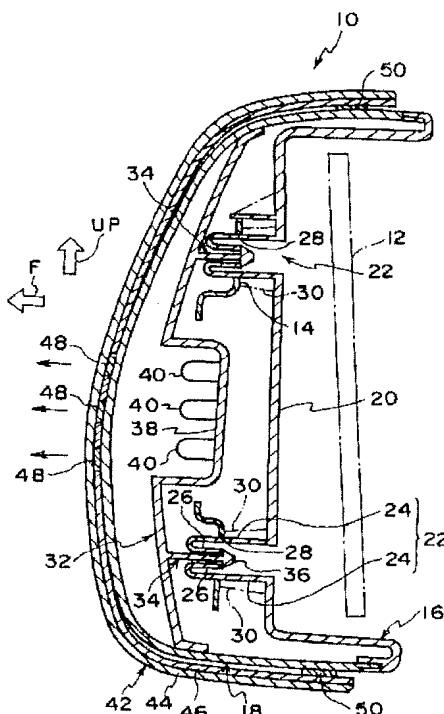
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 オウタミラーのターンシグナル付きバイザカバー構造

(57)【要約】

【課題】 部品点数を削減し、糾付性を良くし、意匠の設計自由度を増し、風切音も低減する。

【解決手段】 発光ダイオード40の光はバイザカバー18を透過する。バイザカバー18は全面的に発光可能である。しかし、インモールド成形された意匠カバー42は、ターンシグナル形状部分48を除く残部において、バイザカバー18の発光を遮光し、バイザカバー18を透過した光が透過するターンシグナル形状部分48だけが、発光する。意匠カバー42のターンシグナル形状部分48は、形状、位置の制限を受けることなく発光することができ、ターンシグナルは自由な形状、自由な位置が実現される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】車両外用のアウタミラーの後側を覆う透光性のバイザカバーと、前記バイザカバーの内側に設けられるターンシグナル光源と、前記バイザカバーの外面を覆い、一部に透光性のターンシグナル形状部分を形成するように転写絵付された意匠カバーと、を備えたことを特徴とするアウタミラーのターンシグナル付きバイザカバー構造。

【請求項2】前記意匠カバーがインモールド成形品である請求項1に記載のアウタミラーのターンシグナル付きバイザカバー構造。

【請求項3】前記光源の背面側に、リフレクタが設けられた請求項1又は2に記載のアウタミラーのターンシグナル付きバイザカバー構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、車両外用のアウタミラーのバイザカバーにターンシグナルが付されるターンシグナル付きバイザカバー構造に関する。

【0002】

【従来の技術】車両外用のアウタミラー、例えば、自動車のドアミラーは、車両後方視認用のミラー一体を備え、ミラー一体の後側がバイザカバーで覆われている。

【0003】このバイザカバーに、ターンシグナルランプ（方向指示灯）が付されたものがある。ターンシグナルランプは、自動車の進路を変える合図として左右のいずれかが点滅し、又は、緊急停車を知らせるためのハザードフラッシュとして左右共に点滅する。

【0004】従来は、図3、図4に示すように、ミラー体100の後側を覆うバイザカバー102に、ターンシグナル部品104のターンシグナル形状に対応する切り欠き開口106が形成され、切り欠き開口106に、ターンシグナル部品104が矢印Aの向きに組付けられていた。図中Fは車両前方を示す。

【0005】そのため、部品点数が多く、組付性が劣る。また、切り欠き開口106の形状、位置は、バイザカバー102の強度上、組付け上、制限を受ける。バイザカバー102のターンシグナル形状の変更が難しい。意匠の設計自由度が小さい。更には、図4に示すように、バイザカバー102の切り欠き開口106とターンシグナル部品104との間においてバイザカバー102に見切りができる。走行中、風がバイザカバー102内に矢印Bで示すように入り込み、風切音（エフキ音）が発生する。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、部品点数を削減し、組付性を良くし、意匠の設計自由度を増し、風切音も低減するアウタミラーのターンシグナル付きバイ

ザカバー構造を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の本発明のアウタミラーのターンシグナル付きバイザカバー構造は、車両外用のアウタミラーの後側を覆う透光性のバイザカバーと、前記バイザカバーの内側に設けられるターンシグナル発光部と、前記バイザカバーの外面を覆い、一部に透光性のターンシグナル形状部分を形成するよう転写絵付された意匠カバーと、を備えた構成を特徴とする。

【0008】請求項2に記載の本発明のアウタミラーのターンシグナル付きバイザカバー構造は、請求項1の構成において、前記意匠カバーがインモールド成形品である構成を特徴とする。

【0009】請求項3に記載の本発明のアウタミラーのターンシグナル付きバイザカバー構造は、請求項1又は2の構成において、前記ターンシグナル光源の背面側に、リフレクタが設けられた構成を特徴とする。

【0010】上記構成によれば、ターンシグナル光源の光はバイザカバーを透過し、バイザカバーは全面的に発光可能である。しかし、意匠カバーは、ターンシグナル形状部分を除く残部において、バイザカバーの発光を遮光し、バイザカバーを透過した光が透過するターンシグナル形状部分だけが、発光する。

【0011】従来のターンシグナル部品を組付けることが不要となり、組付性がよくなる。

【0012】バイザカバーは透光性であって全面的に発光するので、意匠カバーのターンシグナル形状部分は、形状、位置の制限を受けることなく発光することができ、ターンシグナルは自由な形状、自由な位置が実現される。バイザカバーは変更することなく、意匠カバーを変更するだけで、色々な種々のターンシグナルが得られる。

【0013】バイザカバーには、従来のようなターンシグナル部品を取り付ける切り欠き開口が不要であるので、そのような切り欠き開口に起因して風がバイザカバーカーに入り込むことはない。更に、意匠カバーは、転写絵付により、例えば、請求項2にあるインモールド成形により成形されるので、ターンシグナル形状部分と他の部分との間で見きりが生ずることなく、同一面とされて形成される。意匠カバーとバイザカバーとの間に風が入り込むこともない。風切音は抑制される。

【0014】このように、部品点数が削減され、組付性が良くなり、意匠の設計自由度が増し、風切音も低減される。

【0015】請求項3のリフレクタによれば、ターンシグナル光源、例えば、発光ダイオード（LED）から発せられる光のバイザカバーへの全面的な照射が有効に実現される。意匠カバーのターンシグナル形状部分の形

状、位置に関わらず、同等の明るさが得られる。

【0016】

【発明の実施の形態】本発明のアウタミラーのターンシグナル付きバイザカバー構造の一の実施の形態を、自動車のドアミラーについて、図1、図2に基づき説明する。図中、矢印Fは車両前方、UPは車両上方、矢印Wは車両幅方向外方をそれぞれ示す。

【0017】前部ドアの外方に取り付けられる自動車のドアミラー10は、車両後方視認用のミラー体12を備える。ミラー体12は、ミラーフレーム14に取り付けられる。ミラーフレーム14には、図示を省略する鏡面調整機構、格納機構が搭載されている。鏡面調整機構によれば、ミラー体12は、角度調整でき、格納機構によれば、可倒できる。ミラーフレーム14は金属製とされる。

【0018】ミラーフレーム14のミラー体12側には、バイザリム16が組付けられ、ミラーフレーム16のミラー体12と反対側には、バイザカバー18が組付けられる。バイザリム16の外面には凹所20が形成され、凹所20にミラー体12が露出位置される。バイザリム16の縁部はミラーフレーム14に向けてU型に屈曲されている。バイザリム16の凹所20からミラーフレーム14に向けては、複数箇所で、係合対片22が突出形成されている。係合対片22は、離間して対向する一対の片24、24が、向き合う側にU型に屈曲され、屈曲された屈曲部26、26間が、間隙を有して構成される。係合対片22に対応してミラーフレーム14には係合開口28が形成されている。バイザリム16がミラーフレーム14に向けて組付移動されると、係合対片22は、係合開口28に挿通される。係合対片22の両片24、24の外側には、規制部30が形成されている。規制部30が係合開口28の縁部に当接することにより、バイザリム16のそれ以上の組付移動が阻止される。

【0019】一方、バイザカバー18は、ミラーフレーム14側が解放された椀状とされ、内部には、リフレクタ32が設けられている。リフレクタ32は、バイザカバー18の底と離間して対向する板状とされ、縁部は、バイザカバー18の周内面に固定されている。係合対片22の屈曲部26、26の間隙に対応してリフレクタ32には、複数箇所で、係止片34が突出形成されている。係止片34の先端部には拡大部36が形成され、バイザカバー18がミラーフレーム14に向けて組付移動されると、係合対片22の両片24、24の弹性変形を伴ない、拡大部36が屈曲部26、26間に抜け、係止片34が屈曲部26、26間に係止される。バイザリム16の反組付移動が阻止されるとともに、バイザカバー18の反組付移動も阻止される。このとき、図示は省略するが、リフレクタ32からミラーフレーム14に向けて突設された規制片がミラーフレーム14に当接するこ

とにより、バイザカバー18の組付移動が阻止される。また、バイザカバー18の縁部と、バイザリム16の縁部とは、当接され、これにより、バイザカバー18とバイザリム16との間の相対的な組付方向の移動が阻止される。バイザリム16の縁部と、バイザカバー18の縁部とは、凹凸係合され、バイザカバー18とバイザリム16との間において組付方向と直交する方向の相対移動も阻止される。

【0020】バイザリム16、バイザカバー18は共に合成樹脂製とされるが、バイザカバーは、全般的に透明ないし透光性を有する。

【0021】リフレクタ32の中央部はミラーフレーム14に向けて凹設されて、凹内38に、ターンシグナル発光部を構成する発光ダイオード40が設置される。

【0022】バイザカバー18の外面は、意匠カバー42で覆われる。意匠カバー42は、ターンシグナル形状が印刷されたフィルムを用い、インモールド成形により、射出成形と同時に転写絵付される。成形品は、バイザカバー18を覆うような椀状に形成され、透明ないし透光性を有する樹脂44にフィルム層46が接着されてなる。フィルム層46、すなわち、成形品としての意匠カバー42としては、ターンシグナル形状部分48において透明ないし透光性を有し、残部においては、不透明ないし非透光性である。

【0023】意匠カバー42の解放縁部が、バイザカバー18の周外面においてバイザカバー18の解放縁部に、両面接着テープ50を用いて固定され、意匠カバー42がバイザカバー18に取り付けられる。

【0024】なお、ターンシグナルは、自動車の進路を変える合図として左右のいずれかが点滅し、又は、緊急停車を知らせるためのハザードフラッシュとして左右共に点滅するために用いられる。

【0025】次に、本実施の形態の作用を説明する。

【0026】発光ダイオード40の光はバイザカバー18を透過する。バイザカバー18は全面的に発光可能である。しかし、意匠カバー42は、ターンシグナル形状部分48を除く残部において、バイザカバー18の発光を遮光し、バイザカバー18を透過した光が透過するターンシグナル形状部分48だけが、発光する。

【0027】従来のターンシグナル部品を組付けることが不要となり、組付性がよくなる。

【0028】バイザカバー18は透明ないし透光性であって全面的に発光するので、意匠カバー42のターンシグナル形状部分48は、形状、位置の制限を受けることなく発光することができ、ターンシグナルは自由な形状、自由な位置が実現される。バイザカバー18は変更することなく、意匠カバー42を変更するだけで、色々な種々のターンシグナルが得られる。例えば、図2に示すように、ターンシグナル形状部分56を有する意匠カバー52や、それと異なるターンシグナル形状部分58

を有する意匠カバー54を任意に選択採用し、それらをバイザカバー18に取り付けることにより、異なるターンシグナルを有するドアミラー60, 62が得られる。図2中、64は、ドアミラー10のドア取り付け用ステーであり、66は、意匠カバー42が占める領域、68は、発光可能領域を示す。なお、意匠カバー42は、バイザカバー18に両面テープ50を用いて取り付けられる。ターンシグナルの変更のための意匠カバー42の着脱は容易である。

【0029】バイザカバー18には、従来のようなターンシグナル部品を取り付ける切り欠き開口が不要であるので、そのような切り欠き開口に起因して風がバイザカバー18内に入り込むようなことはない。更に、意匠カバー42は、転写絵付により、例えば、インモールド成形により成形されるので、ターンシグナル形状部分40と他の部分との間で見きりが生ずるようなく、同一面とされて形成される。意匠カバー42とバイザカバー18との間に風が入り込むこともない。風切音は抑制される。

【0030】このように、部品点数が削減され、組付性が良くなり、意匠の設計自由度が増し、風切音も低減される。

【0031】発光ダイオード40から発せられる光、そして、意匠カバー42の不透明ないし非透光性の部分で反射されて戻ってくる光が、リフレクタ32でバイザカバー18へ向けて全面的に照射され、意匠カバー42のターンシグナル形状部分40の位置に関わらず同等の明るさが得られる。また、リフレクタ32は、図2に示すように、発光可能領域68を決め、発光可能領域68は、意匠カバー42が占める領域66内に收まるように30される。

*

* 【0032】本発明は上記の実施の形態に限定されるものではない。例えば、上記実施の形態では、自動車のドアミラーについて説明したが、それに限らず、例えばフェンダミラー等も可能である。また、ターンシグナル光源は、発光ダイオードに限らず、転写絵付は、インモールド成形に限らず、他の種々の手段が可能である。更に、意匠カバーをバイザカバーに取り付ける手段も、両面テープに限らず、他の手段が可能である。

【0033】

10 【発明の効果】以上、説明したように、本発明に係るアウタミラーのターンシグナル付きバイザカバー構造によれば、部品点数が削減され、組付性が良くなり、意匠の設計自由度が増し、風切音も低減される。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のアウタミラーのターンシグナル付きバイザカバー構造の一の実施の形態を示す縦断面図である。

【図2】意匠カバーのバリエーションを示す図である。

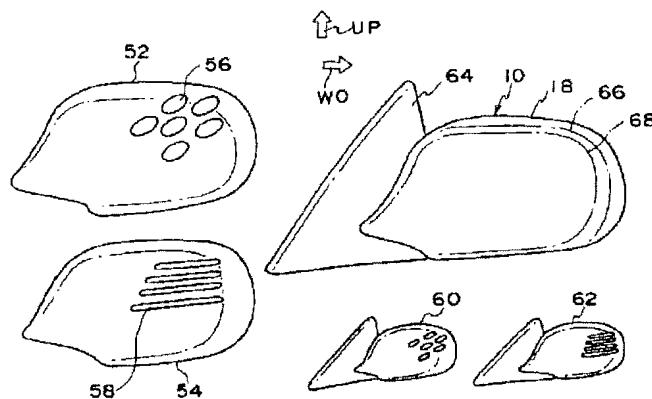
20 【図3】従来のアウタミラーのターンシグナル付きバイザカバー構造を示す斜視図である。

【図4】従来のアウタミラーのターンシグナル付きバイザカバー構造を示す縦断面図である。

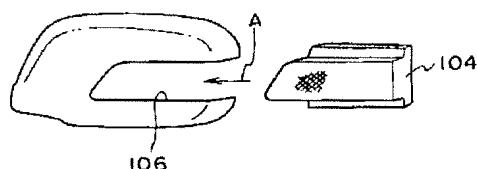
【符号の説明】

- 10 アウタミラー
- 18 バイザカバー
- 32 リフレクタ
- 40 発光ダイオード（ターンシグナル光源）
- 42 意匠カバー
- 44 樹脂（意匠カバー）
- 46 フィルム層（意匠カバー）
- 48 ターンシグナル形状部分

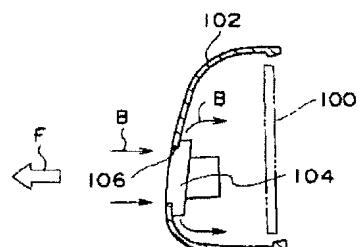
【図2】



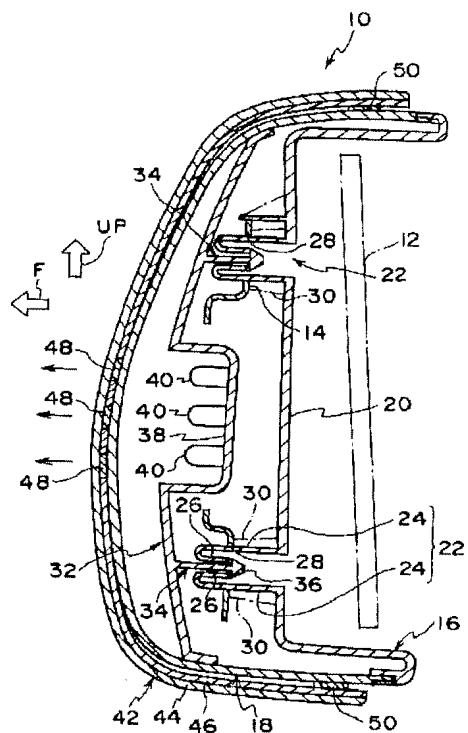
【図3】



【図4】



【図1】



フロントページの続き

F ターム(参考) 3D053 FF28 FF31 GG06 JJ59
3K039 LB10 LC05 LD06 LE01 LE16
MD06